



月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 216 号-①【基準日 2022 年 7 月 29 日】



🌸 社長メッセージ



資産運用で一番大切なことは継続すること

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。8月に入り尋常ではない猛暑が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？熱中症リスクが高まっていますので皆さま体調管理には気を付けて、くれぐれもご自愛ください。

さて、先月のマーケットですが、世界的なインフレ高進リスクが高まる中で利上げ動向に左右される1ヶ月になりました。月中旬にかけては米国の6月CPIが約40年半ぶりの前年同月比+9.1%上昇となり株式市場は調整しましたが、逆にピーク感も見られてきたことから過度なインフレ懸念が後退し、月後半のFOMCでは1%の利上げの可能性も予想された中で、前月と同じ0.75%の利上げに留まったことが好感されて、月末にかけて世界の株式市場は上昇しました。また、為替相場については米国や欧州を始めとして各国が利上げに舵を切る中で金利差拡大と金融政策のベクトルの違いから円安が加速して月半ばには1ドル139円台の円安水準になりましたが、月末にかけては米国長期金利が低下したことにより、逆に大きく円高に振れました。

そのような中で、ありがとうファンドは月間で+2.7%の上昇となりました。世界株は+3.3%の上昇となり、相対的にやや出遅れました。参考までに日本株TOPIX配当込みについては+3.7%の上昇となりました。



ウクライナ問題の長期化と景気後退懸念

今後の見通しですが、ウクライナ問題が長期化していく中、資源エネルギー価格、原材料・食糧価格の高騰が今後も続いていく可能性が高まっており、特に欧州ではエネルギー価格の高騰が深刻な国内問題になっており、政治リスクも高まってきております。日本国内においても値上げラッシュが続いており、今後もボディブローのように私達の日常生活に悪影響を及ぼしてくるものと思われます。

現在のインフレ高進は、中国のロックダウンなどによる半導体や部品等のサプライチェーン上の問題やロシアに対する西側諸国の経済制裁などによる資源エネルギー原材料の供給制約に起因している部分が多く、供給制約が抜本的に解消されない場合は、利上げをして景気を抑制し、需要を減少させることで時間をかけてインフレ対応していく必要がありますので、景気後退するリスクも増してきております。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



インフレ長期化と景気後退リスクを回避していくためには、ウクライナ問題の早期解決が必要な情勢になってきておりますが、米国とEU各国の足並みの乱れも生じてきており、予断を許さない先行き不透明な状況が継続しています。

さらに、台湾を巡る米中対立による地政学リスクのさらなる高まりも懸念される中、供給制約によるインフレ長期化、利上げ・金融引締めによる景気後退リスクから、マーケットは引き続き乱高下するボラティリティの高い不安定な相場

展開になると考えられます。景気回復期待から景気敏感株が買われる相場から景気後退していく中でも持続的に利益成長していける好業績企業が選考される業績相場への移行が進んでいくものと思われます。

資産運用で一番大切なことは継続すること

先行き不透明な世界経済情勢下ではありますが、資産運用をしていく上で一番大切なことは目標に向かって資産運用を継続していくことです。そして、資産運用で一番難しいことも継続していくことです。

老後に向けて長期・積立・国際分散投資で資産形成を始めても途中で止めてしまえば想定した運用成果を得ることはできないでしょう。

折角、始めたのに継続できずに、途中で止めてしまうのはなぜなのでしょう？ 経済的な事情で余裕資金がなくなってしまったことや時間軸を短期で捉えてしまってマーケット動向に一喜一憂してしまったこと、ライフプランに沿った目標設定がきちんと出来ていなかったことなど要因がいくつか考えられますが、一番大きな要因として、価格変動するマーケットに居続けることは頭では理解できていても難しく、長期で資産運用を実践するのは簡単ではないからだと考えられます。

グローバル化した情報過多のデジタル時代に瞬時に伝達されるニュースに一喜一憂してしまうのは人間としてはむしろ自然な感情だと思います。それは、私達がプログラミングされたロボットではなく、感情のある人間で完全に合理的には行動できないからです。また、行動経済学においても資産運用の継続を妨げてしまうような投資行動の傾向について数多く示されています。

だからこそ、不安になり一喜一憂しそうになったときには一旦立ち止まって冷静になり、資産運用の目的や目標を改めて思い出すことが大切になってくると考えます。

マーケットの歴史を振り返ると過去に何度も暴騰や暴落を繰り返してきました。先行き不透明な局面で将来のことはわかりませんが、時間を味方につけて皆さまご自身の資産運用の目標を目指してコツコツと長期・積立・国際分散投資を継続していきましょう。

弊社はこれからも長期国際分散投資で世界経済及び企業利益の成長の恩恵を長期で享受できるように、幅広い国や地域の質の高い企業に厳選投資することでリスクを抑えながら安定した運用成果の提供を目指して参ります。

今後ともありがとう投信をどうぞよろしくお願い申し上げます。



積立投資のススメ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。

②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、
時間を味方につけていきましょう！

期間	平均取得単価	損益
1年	26,393円	▲5.2%
3年	22,229円	+12.6%
5年	20,463円	+22.3%
10年	16,177円	+54.7%
初回(2004年10月)から	12,400円	+101.8%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	11万3752円
3年	36万円	40万5187円
5年	60万円	73万3576円
10年	120万円	185万5908円
初回(2004年10月)から	214万円	431万7641円

2022年7月29日現在(基準価額:25,019円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。

※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。

※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/html/seminar/index.htm>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
【今から考える！法律問題シリーズ】 第1回 “争続”にならないための円満な相続対策	8月7日 (日)	東京	10:00～ 11:30	弁護士 宇田川 高史 氏 (CLOVER法律事務所)
先行き不透明な今だから伝えたい『資産運用で大切なこと』	8月21日 (日)	仙台	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
先行き不透明な今だから伝えたい『資産運用で大切なこと』	8月28日 (日)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
【今から考える！法律問題シリーズ】 第2回 泣き寝入りにならないための消費者トラブル対策	9月4日 (日)	東京	10:00～ 11:30	弁護士 宇田川 高史 氏 (CLOVER法律事務所)

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。

毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落としを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2022年 8月分	7月5日(火)	7月27日(水)	8月8日(月)	8月17日(水)	8月19日(金)
2022年 9月分	8月4日(木)	8月25日(木)	9月6日(火)	9月14日(水)	9月16日(金)
2022年 10月分	9月5日(月)	9月26日(月)	10月6日(木)	10月17日(月)	10月19日(水)
2022年 11月分	10月5日(水)	10月25日(火)	11月7日(月)	11月15日(火)	11月17日(木)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申し込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

8月	15日(月)	聖母被昇天祭	ルクセンブルクの銀行休業日
9月	5日(月)	労働者の日	ニューヨーク証券取引所休業日
10月	-	-	-



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

<免責事項 | Disclaimer>

リフィニティブ・リップ・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップリー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップ・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。



先行き不透明な今だから伝えたい 「資産運用で大切なこと」

ありがとう投信セミナーを約 2 年半ぶりに再開いたしました！

世界的な資源価格、原材料価格高騰によるインフレ高進リスクが高まる中、米国の利上げ金融引締めにより、世界の株式市場は年初より大きく調整してボラティリティの高い相場が続いております。

このような先行き不透明な状況の中、今回のセミナーでは『資産運用で大切なこと』について、ライフプランと目標設定の重要性とともに、当社代表の長谷が皆さまにわかりやすくお伝えしたいと思いますので、是非この機会にご参加頂ければ幸いです。

札幌

2022 年 6 月 18 日（土）終了しました
かでる 2. 7 (北海道立道民活動振興センター)810B 会議室

名古屋

2022 年 7 月 16 日（土）終了しました
ウインクあいち（愛知県産業労働センター） 1310

大阪

2022 年 7 月 17 日（日）終了しました
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
セミナー室 2

東京

2022 年 7 月 23 日（土）終了しました
ありがとう投信本社 3F（東京千代田区内神田）

仙台

2022 年 8 月 21 日（日）13:30～15:30
仙都会館 7 階 A 会議室

福岡

2022 年 8 月 28 日（日）13:30～15:30
アクロス福岡 会議室 602



代表取締役社長
長谷俊介

お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ

URL : <https://www.39asset.co.jp/seminar/info/> フリーコール : 0800-888-3900

今から考える！法律問題シリーズ

宇田川先生の大人気シリーズ「法律問題セミナー」を3年ぶりに開催いたします！

今年は『今から考える！法律問題シリーズ』としていわゆる“争族”にならないための円満な相続対策や消費者トラブル、社会問題にもなっている高齢化社会で生じ得るトラブル対策を取り上げて、皆さまと一緒に学んでいきたいと思います。

第1回

2022年8月7日（日）10:00～11:30
“争族”にならないための円満な相続対策

第2回

2022年9月4日（日）10:00～11:30
泣き寝入りにならないための消費者トラブル対策

第3回

2022年11月予定
高齢化社会で生じ得るトラブル対策

会場

ありがとう投信株式会社 本社3F
〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9

参加費

無料（弊社お客様限定）

講師



CLOVER LAW OFFICE

弁護士 宇田川 高史 氏
（CLOVER 法律事務所）



お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ

URL : <https://www.39asset.co.jp/seminar/> フリーコール : 0800-888-3900



ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.